

令和4年度行政評価結果概要

No.	事業名 【事業課名】	事業概要 【事業費】	委員会評価	
			事業 方向性	評価理由・コメント
1	テレビ広報放送事業 【秘書広報課】	<p>蕨ケーブルビジョンの11チャンネルで、毎週金曜日から木曜日、45分の行政広報番組「ハローわらび」を9・12・15・18・21時から放送している(年間の制作本数は52本)。番組内容は、市政情報やまちの話題、公共施設の案内、市からのお知らせなど。</p> <p>※アンケートで「ハローわらび」を「よく見る」「ときどき見る」と回答した割合…51%(令和2年度)、51%(令和3年度) 【令和3年度決算額 24,473,020円】</p>	<p>継続</p> <p>改善・効率化</p>	<p>即時性や多様な情報を発信できる点などのテレビ放送ならではの特色を生かして、引き続き充実した情報発信を目指されたい。</p> <p>また、近年、Youtube等を活用したインターネット上での情報発信に対する需要の高まりがあり、現在も一定の連携を図っているところであるが、今後もテレビ広報とインターネットとの連携やそのニーズについては研究されたい。</p>
2	自主防災組織育成事業 【安全安心推進課】	<p>自主防災会への支援強化等を目的に、下記事業を実施している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自主防災組織の育成及び市民の防災組織の高揚並びに普及を図るため、災害時の自主活動において必要となる資機材等の購入に要した費用の一部を補助する(自主防災組織の設立初年度は10万円、翌年度からは5万円を支給)。 ・災害時に迅速かつ円滑な避難所運営が行えるよう、災害時に実際の避難所となる施設(小・中学校)を使用した訓練を実施する。 ・平時より避難所運営に当たっての基本的な事項について事前協議の場を設け、有事に備えた体制や顔の見える関係を構築するため、自主防災会、指定避難所、行政の3者による避難所運営協議会を避難所ごとに設置する。 <p>※避難所運営協議会の設置数…1か所(令和2年度)、1か所(令和3年度) 【令和3年度決算額 2,120,439円】 県補助金:33,000円</p>	<p>継続</p> <p>改善・効率化</p>	<p>引き続き自主防災組織の体制強化に向けた支援や自主防災リーダーの育成を継続しつつ、指定避難所における避難所運営協議会の設置を更に推進されたい。また、今後は、同協議会が設置された地域において、自主的な訓練等が促進されるよう支援方法を工夫するなど、一層の地域防災力の向上に努められたい。</p>
3	交通安全推進事業(高齢者運転免許証自主返納奨励事業) 【安全安心推進課】	<p>運転免許証を自主返納しやすい環境の整備を図り、高齢ドライバーによる交通事故を未然に防ぐことを目的に、自動車等の運転に不安を抱え、自ら運転免許証を返納しようとする満65歳以上の市民に対して、移動のために利用するバスまたはタクシーの利用料金の一部を助成する(1回限り)。助成内容は、国際興業バスの回数券(7,700円分)またはタクシー利用補助券(初乗り500円分を14回で7,000円分)。</p> <p>※バス回数券・タクシー利用補助券の申請者数…324人(令和2年度)、250人(令和3年度) 【令和3年度決算額 1,630,400円】</p>	<p>継続</p> <p>改善・効率化</p>	<p>運転に不安を抱える高齢者の返納を後押しするため、引き続き様々な機会を捉えて事業内容や仕組みについて丁寧に説明していくとともに、特に、制度の利用に当たっては、返納後1年以内の申請が必要である点について、警察との連携を密にし、一層の周知に努められたい。</p>
4	駅前自転車等対策事業 【安全安心推進課】	<p>自転車等の放置による生活環境の障害を防止することを目的に、駅周辺における放置自転車の撤去・啓発、駅利用者等の自転車等駐車場登録、自転車等駐輪場・撤去自転車保管場所の整備、民営自転車等駐車場設置に対する助成等を実施している。</p> <p>※放置自転車数(現況調査による撤去台数/日)…41台(令和2年度)、81台(令和3年度) 【令和3年度決算額 52,558,799円】</p>	<p>継続</p> <p>改善・効率化</p>	<p>駐輪場については、より利用しやすい受付・利用期間の設定について引き続き検討するとともに、施設の老朽化が進んでいる現状を鑑み、受益者負担の見直しなど費用対効果を踏まえた改修のあり方を研究されたい。</p>

No.	事業名 【事業課名】	事業概要 【事業費】	委員会評価	
			事業 方向性	評価理由・コメント
5	塵芥処理事業 【安全安心推進課】	<p>ゴミの収集の適正・効率化を通じて、良好な生活環境の維持と公衆衛生の向上を図ることを目的に、家庭ごみを原則として毎週2日(日曜、年末年始、勤労感謝の日は休業)、午前8時から午後4時までの間に収集する。なお、家庭ごみは、もやすごみや資源物(14種類)に区分し、市内各所に設置されたクリーンステーション(もやすごみ)、リサイクルステーション(資源物)に適切に出されたものを収集している。また、家庭で使われていた家財道具等を粗大ごみとして収集している。</p> <p>※蕨市民1人あたりの1日の家庭ごみ排出量…578g(令和2年度)、594g(令和3年度) 【令和3年度決算額 326,433,881円】</p>	<p>継続 改善・効率化</p>	<p>ごみ収集の適正・効率化を図るため、関係団体等との連携を図りながら外国人住民を含めた分別方法の周知に一層工夫するとともに、高齢化の進展などを踏まえ、集積所までのごみの持ち出しが困難な方への対応について検討を進められたい。</p>
6	男女共同参画推進事業(配偶者暴力相談支援センター) 【市民活動推進室】	<p>DVを防止し、被害者を公的な相談につなげられるようDVの正しい理解を広めるとともに、被害者に対する適切な支援を行い、安全に自立した生活が送れるようになることを目的に、平成27年4月より配偶者暴力相談支援センターを設置し、事業を行っている。具体的な事業内容は以下のとおりである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・DV及びデートDV防止啓発:パープルリボン展、DV防止啓発パネル展、DV防止出前講座、DV・デートDV防止啓発パンフレットの配布(成年式での配布及び市内3中学校1年生への配布) ・DV被害者支援:DV相談(月、水、木曜日は女性相談員による相談)の実施、フェミニストカウンセラーによる女性の心と生き方相談、DV対策庁内連絡会(職員研修含む)による庁内連携 <p>※DV相談件数…445人(令和2年度)、299人(令和3年度) 【令和3年度決算額 1,781,592円】 国庫補助金 591,000円</p>	<p>継続 改善・効率化</p>	<p>年齢・性別にとらわれることのない幅広い層に対し(中でも、特に低い年齢層に対し)、また職員と市民の双方に対しさらなる周知・啓発を図られたい。その上で、被害者支援に関する専門性をより一層高め、きめ細やかな支援を継続し、更なる事業効果をあげられるよう努められたい。</p>
7	社会福祉協議会補助事業 【福祉総務課】	<p>地域に密着した福祉サービスの提供と地域福祉の増進を図るため、社会福祉協議会が実施する公益性の高い事業(法人運営事業、ボランティアセンター事業、老人福祉センター松原会館運営事業)に対して補助を行う。</p> <p>※社会福祉協議会会員数…3,664人(令和2年度)、3,495人(令和3年度) 【令和3年度決算額 54,800,000円】</p>	<p>継続 改善・効率化</p>	<p>自主自立の体制を確立する観点から、既存会員の維持と新規開拓による会費の確保に加え、受託事業の利用者増などによる収益増に取り組み、自主財源の確保に努めるとともに、事業の効率化についても引き続き取り組むことで、必要な事業について安定的な実施が図れるよう指導されたい。</p>
8	障害者日常生活支援事業(福祉自動車燃料給付事業) 【福祉総務課】	<p>重度障害者に対し、日常生活に供する自動車の運行に係る燃料費の一部を助成し、日常生活の利便と経済的負担の軽減を図る。令和2年度までは、受給者に福祉自動車燃料助成券を年間12枚交付し、市が協定を締結した事業者で給油する際に、事業者に助成券を提出することで、1枚1,000円分の助成を受けることとしていたが、協定事業者が1か所のみとなったため、令和3年度より事業の見直しを行い、領収書を添付して助成金を申請する償還払いへ変更を行った。</p> <p>※申請者数…248人(令和2年度)、285人(令和3年度) 【令和3年度決算額 2,754,308円】</p>	<p>継続 改善余地なし</p>	<p>令和3年度からは、市内事業者に限らず、どこの事業者も助成の対象となり、利用者のニーズに合わせた対応が図られた直後であるため、現時点での改善余地はない。</p>

No.	事業名 【事業課名】	事業概要 【事業費】	委員会評価	
			事業 方向性	評価理由・コメント
9	保育園運営費(地域子育て支援センター事業) 【児童福祉課】	子育て家庭の育児不安等を解消することを目的に、市内4か所(公営2か所、民間委託2か所)で地域子育て支援センターを開設し、子育て親子の交流の場の提供や、子育てに関する相談援助、地域の子育て関連情報の提供、子育て・子育て支援に関する講習等を実施している。 ※利用者数…4,164人(令和2年度)、7,305人(令和3年度) 【令和3年度決算額 30,843,894円】 国庫補助金:10,283,000円 県補助金:10,283,000円	継続 改善・効率化	コロナ禍において育児不安等は一層高まり、本事業の重要性は増していると考えられるため、相談機会を確保できるようオンライン相談の導入など利用しやすい環境づくりを進めるとともに、子育て講座の充実など、引き続き利用者のニーズを捉えた事業内容の工夫に努められたい。
10	留守家庭児童指導室管理運営費 【児童福祉課】	放課後保育に欠ける子育て家庭に対し、児童を安全に預かる場を提供することを目的に、市内20室(公設公営7室、公設民営9室、民設民営4室)で、保護者からの申請に基づき、保護者が就労等により昼間家庭にいない小学6年生までの児童の預かりを実施している。なお、令和4年度から長期休業期間(春・夏・冬休み)及び土曜日の開室時間の繰上げを行っている。 ※利用者数…733人(令和2年度)、751人(令和3年度) 【令和3年度決算額 176,718,470円】 国庫補助金:46,377,000円 県補助金:52,311,819円	継続 改善・効率化	今後も質の高い事業運用に資するよう研修などを通じて指導員の資質向上に努めるとともに、引き続き民間活力を有効に活用されたい。また、受益者負担のあり方についても調査・研究を進められたい。
11	老人福祉センターけやき荘管理運営費 【介護保険室】	高齢者に憩いとやすらぎの場を提供し、高齢者サークル等の活動拠点となっているけやき荘の管理運営を行っている。また、各種講座を開催しているほか、高齢者クラブや地域包括支援センターが実施する介護予防事業などの活動の場としても活用している。 ※けやき荘利用者数…4,824人(令和2年度)、9,022人(令和3年度) 【令和3年度決算額 7,748,638円】	継続 改善・効率化	高齢者のニーズに応じた講座等の活動内容の充実や、新規利用者の参加を促す工夫について引き続き検討するとともに、コロナ禍にあっても、安心した利用につながる運営に取り組まれたい。
12	敬老祝賀事業 【介護保険室】	長年にわたり地域社会の発展に貢献してこられた高齢者に対する敬老の意を表すとともに、長寿を祝うことを目的として、蕨市お年寄りを敬う会(敬老優秀作文の朗読、演芸)、敬老祝品の贈呈(最高齢者は市長が表敬訪問)、金婚祝式(式典、演芸等)を実施している。(お年寄りを敬う会については、令和2年度、令和3年度ともに新型コロナウイルスの影響により中止。) ※金婚祝式参加組数…27組(令和2年度)、19組(令和3年度) 【令和3年度決算額 2,761,741円】	継続 その他見直し(対象者の見直し)	お年寄りを敬う会については、高齢化が進展するなか、対象者が毎年増大し続けていくことが見込まれるため、対象者の見直しを継続的に検討されたい。また、あわせて祝品についても対象者について引き続き研究されたい。

No.	事業名 【事業課名】	事業概要 【事業費】	委員会評価	
			事業 方向性	評価理由・コメント
13	在宅要介護高齢者支援事業 【介護保険室】	<p>在宅での日常生活に著しく支障がある低所得の高齢者の福祉の増進を図るために、65歳以上の蕨市の介護保険被保険者で、以下の要件を満たす人を対象に、月額5,000円を支給している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護保険の要介護認定で要介護4又は5の認定を受けている ・介護保険の保険料段階が第3段階以下 ・介護保険施設に入所していない ・生活保護および在宅重度障害者手当を受給していない <p>※在宅要介護高齢者手当受給者数(延べ)…198件(令和2年度)、190件(令和3年度) 【令和3年度決算額 4,445,000円】</p>	<p>継続 改善余地なし</p>	<p>本事業は、日常生活に支障がある低所得の高齢者にとって経済的な負担を軽減し、生活基盤の安定化を図る一助となっており、改善余地はない。</p>
14	緊急通報体制整備等事業 【介護保険室】	<p>在宅のひとり暮らし高齢者等に対し、緊急時に適切な対応を図り、日常生活上の不安感、孤独感を軽減し、自立した在宅生活を支援するため、申請に基づき、福祉連絡システム機器(相談及び緊急ボタンがある機器及びペンダント型発信機)の居室への設置を行っている。設置後は、緊急時にボタンを押すことで、受信センター(平成9年までは消防本部。平成10年から蕨市社会福祉協議会に委託。24時間体制)から、ヘルパー派遣や救急車の手配などの適切な対応が受けられる。</p> <p>※福祉連絡システム機器設置台数(年度末現在)…418台(令和2年度)、427台(令和3年度) 【令和3年度決算額 48,530,260円】</p>	<p>継続 その他見直し(民間委託等を含めた実施方法の検討)</p>	<p>本事業は高齢者の日常生活上の不安の解消、自立した在宅生活の支援という部分において有効に機能し、成果を得られていると考えられるが、今後は、携帯電話しか持たない高齢者への対応やコスト等を総合的に勘案し、民間委託を含めた、抜本的な実施方法の検討をされたい。</p>
15	健康長寿事業 【保健センター】	<p>様々な病気の予防効果が実証されている「1日8,000歩・中強度の活動時間20分」の普及啓発のため、平成30年度からは県の「コバトン健康マイレージ事業」と連携して、参加者が歩数計やスマートフォンアプリを使用することで、歩数に応じてポイントが付与され景品が当選するなど、楽しみながら継続して健康づくりに取り組むとともに、市独自でもウォーキングイベントの開催や抽選会を行い参加者の普及啓発に努めている。</p> <p>※コバトン健康マイレージの申込登録者数(累計)…506人(令和2年度)、1,443人(令和3年度) 【令和3年度決算額 705,960円】</p>	<p>継続 改善・効率化</p>	<p>コロナ禍における体力の虚弱化(コロナフレイル)が指摘され、また、高齢者へのスマホ普及率も高まっているなか、引き続き、本事業の周知啓発への取り組みが重要であるが、参加人数だけでなく、参加者がより積極的に利用してもらうよう、送信率増加を目指した周知の取り組みを検討されたい。 また、県との連携事業ではあるが、新規参加者の獲得と継続者の支援に向けて、市内企業や団体との協働によりインセンティブを設けるなど研究されたい。</p>
16	各種検診事業(歯周疾患検診) 【保健センター】	<p>節目の年齢である20・30・40・50・60・70歳の方、及び、30歳以上の希望者を対象として、歯周疾患予防のための口腔内診査と保健指導を行っている。(20歳の対象者はパノラレントゲン撮影を追加実施) 実施方法は対象者に受診券を送付し、対象者は委託歯科医院で受診する。</p> <p>※歯周疾患検診(30・40・50・60・70歳)の受診率…11.1%(令和2年度)、11.4%(令和3年度) 【令和3年度決算額 4,970,742円】 県補助金:955,000円 ※県補助金はNo.17、No.18等の事業に対して一体で交付されているものであり、行政評価に際して便宜的に按分したものである。</p>	<p>継続 改善・効率化</p>	<p>節目年齢の検診について、個別の勧奨を複数にわたり行っているにも関わらず受診しないかたへのアプローチについては、更に分析を深めるとともに、先進自治体の事例を調査するなどして、対象者の関心を高める周知啓発を研究されたい。</p>

No.	事業名 【事業課名】	事業概要 【事業費】	委員会評価	
			事業 方向性	評価理由・コメント
17	健康診査事業 【保健センター】	<p>30歳代の市民と40歳以上の生活保護受給者を対象に健康診査を実施する。また、40歳の節目年齢の市民を対象に肝炎ウイルス検診を実施している。</p> <p>※健康診査の受診者数…485人(令和2年度)、469人(令和3年度) 【令和3年度決算額 5,100,657円】 県補助金:814,000円 ※県補助金はNo.17、No.18等の事業に対して一体で交付されているものであり、行政評価に際して便宜的に按分したものである。</p>	<p>継続</p> <p>改善・効率化</p>	<p>受益者負担については、蕨戸田市医師会等との協議も行いながら、引き続き適正な運用を図られたい。また、30歳代で本事業の対象となる市民の数の把握の方法や、効果的な周知啓発や勧奨方法について先進事例を研究されたい。</p>
18	救急医療対策事業・地域医療推進事業(地域医療体制の推進) 【保健センター】	<p>市民に身近な医療体制づくりを図るため、蕨戸田市医師会、蕨戸田歯科医師会、蕨戸田市医師会看護専門学校への補助事業を実施している。</p> <p>医師会の協力のもと、診療時間外の初期救急医療に対応するため、蕨市・戸田市休日・平日夜間急患診療所運営補助事業や、休日の産婦人科の在宅当番医制運営委託事業(蕨市戸田市8医療機関)を実施するとともに、安定した第二次救急医療の確保を図るため、病院群輪番制病院運営費負担事業(蕨市戸田市4医療機関)、小児救急医療支援事業(蕨市立病院・戸田中央病院の2医療機関)を実施している。また、子どもを出産した家庭に、「こどもの救急」リーフレットの配布やホームページ上で救急医療についての情報提供やこどもの救急サイトの紹介を行っている。</p> <p>※小児救急医療事業における受診者数(蕨市急患診療所において小児科を受診した蕨市民または戸田市民の数)…403人(令和2年度)、588人(令和3年度) 【令和3年度決算額 44,842,487円】 戸田市分担金(令和3年度決算額) 11,110,000円</p>	<p>継続</p> <p>改善・効率化</p>	<p>本事業は市民が安心して生活するために欠かせないものであり、今後も適正な事業実施と周知啓発を継続されたい。特に、救急医療の適切な利用の啓発と、各種電話相談(#8000、#7119)等の活用の周知に引き続き取り組まれたい。</p>
19	緑化推進事業 【道路公園課】	<p>緑の保全や育成を図り、緑化を推進することで緑と潤いのある住環境を形成するため、街路樹の剪定、消毒などの維持管理や、緑道の施設管理及び清掃の実施、南町桜並木の維持管理をしている南町桜並木保存会への補助金交付、民有地への生垣設置に対しての補助金交付を行っている。</p> <p>※市民意識調査における公園緑地の整備、身近な緑と花の充実の満足度…3.20ポイント(令和2年度)、3.21ポイント(令和3年度) 【令和3年度決算額 19,447,164円】</p>	<p>継続</p> <p>改善・効率化</p>	<p>街路樹の適正な維持管理を継続するとともに、本市の実状にあったまちの緑化推進に向けた更なる取組についてニーズを把握しつつ、他市の状況を参考にしながらそのあり方や必要性を調査、研究をされたい。</p>